指針第２号様式

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

１　地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者（届出者）の名称	株式会社名古屋東急ホテル
地球温暖化対策事業者（届出者）の住所	愛知県名古屋市中区栄四丁目6番8号
工場等の名称	株式会社名古屋東急ホテル
工場等の所在地	愛知県名古屋市中区栄四丁目6番8号
業種	宿泊業、飲食サービス業
業務部門における建築物の主たる用途	ホテル・旅館
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	ホテル・旅館業
計画期間	令和4年4月1日　～　令和7年3月31日

２　地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年7月19日　～　令和6年10月17日		
公表方法	○	掲示閲覧	（場所）　名古屋東急ホテル　地下2階　中央監視室
		ホームページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-252-8640		

指針第２号様式

３　地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

（１）地球温暖化対策の推進に関する方針

１、ホテルの事業活動が環境に与える影響を認識し、継続的な改善に努めます。
２、環境に関する法令、規制、協定を遵守し自主基準、業務手順を整備し継続的な改善に努めます。
３、効率的な事業活動を推進し、省エネルギー、省資源を推進します。
４、分別回収の積極的推進を通じて、廃棄物の削減と再資源化に努めます。
５、未然防止に重点を置き、安全対策、衛生管理に継続的に取組みます。
６、省エネ・省資源に関する最新設備・技術の情報収集、導入検討を協議します。
７、毎月、部門毎のエネルギー使用状況を分析し、委員会で報告し、掲示板に開示します。

（２）地球温暖化対策の推進体制

環境保全推進委員会

統括責任者
↓　↑
総支配人
↓　↑
推進リーダー
副総支配人
↓　↑
総料理長
↑　↓
管理支配人

人事・総務　⇔　管理支配人　⇔
施　設

販売促進支配人　⇔　従業員
↑　↓
宴会支配人　⇔　従業員
↑　↓
食堂支配人　⇔　従業員
↑　↓
総料理長　⇔　従業員
↑　↓
管理支配人　⇔　従業員
↑　↓
客室支配人　⇔　従業員

指針第２号様式

４　温室効果ガスの排出の状況

計画期間　２　年度目（令和　５　年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		5,137	t-CO_2
（温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）①を除く）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO_2
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO_2
	④メタン		t-CO_2
	⑤一酸化二窒素		t-CO_2
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO_2
	⑨三ふっ化窒素		t-CO_2
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO_2
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		5,137	t-CO_2

５　温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（１）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　3　年度		令和　6　年度		令和　4　年度		令和　5　年度		令和　6　年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　3　年度		令和　6　年度		令和　4　年度		令和　5　年度		令和　6　年度	
原単位あたりの排出量	0.1117	t-CO2 / m^3	0.1083	t-CO2 / m^3	0.1217	t-CO2 / m^3	0.1223	t-CO2 / m^3		t-CO2 / m^3
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 9.0	%	▲ 9.5	%		%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO2 / m^3		t-CO2 / m^3		t-CO2 / m^3
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（２）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

コロナウイルスが第五類になり、稼働が高まり未達となった。
だが、照明設備をLED化を推し進め、館内の8割ほど完了。

備考１　温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
備考２　温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排
備考３　原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
備考４　温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

指針第２号様式

６　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

（１）自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理/エネルギー使用等の把握及び管理	・組織横断的な委員会を設置し、組織目標を設定 ・エネルギーの使用状況の把握、計測、分析、記録 ・使用実態の見える化(部門別)	継続する	エネルギー報告会を月1回実施、部門長に使用状況を開示し省エネを図っている。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	・冷暖房の温度設定、外気の取入量等、運転時間の徹底 ・全客室二重窓設置完了し空調負荷の軽減。	継続する	販売していない客室の空調停止などこまめな節電を行った。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	・可能な限りVﾍﾞﾙﾄは省エネベルトへ交換する ・自動販売機の不要な照明は消灯 ・デマンド抑制装置を導入し、最大需要電力の抑制	継続する	ベルトも音が鳴ったらすぐに交換し省エネに努めた。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	・冷温水ポンプをインバーター制御	継続する	出来るだけ、インバーター制御を行った。
省エネルギー・省資源の推進/昇降装置	・従業員EV2UP3DOWN運動の啓蒙 ・エスカレーターは宴会場の使用状況で運用	継続する	EV前に啓蒙活動のポスターを設置。
省エネルギー・省資源の推進/OA機器	・退社時の消灯、PCや事務用品の主電源を切り待機電源の抑制を行う	継続する	事務所も照明をLED化し消費電力を抑えた。
自動車利用おける取り組み	・急発進、急加速をせず、アイドリングストップの確実な実行エコドライブを推進 ・タイヤの空気圧など、こまめな点検・整備	継続する	鍵の管理箱の前に、啓蒙ポスターを設置した。
水資源の有効活用	・1.2階客用トイレを更新　節水型トイレの採用 ・節水コマの設置	継続する	23年度、3階客用トイレ迄更新完了。今期は3・4階従業員トイレの節水化を予定。
廃棄物の排出抑制	・両面コピー、裏紙利用による使用量の削減 ・共有フォルダの利用、ペーパーレス会議	継続する	web会議の開催を増やした。

指針第２号様式

（２）再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア　計画期間　２　　年度目（令和　５　年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区　分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電　力		t-CO_2
熱		t-CO_2

（３）環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間　２　年度目（令和　５　年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2

（４）みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO_2

（５）その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

（６）「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況